

9月時点の進路希望調査より

10月4日(火)に来春の公立高校進学希望調査の結果が発表されました。三田市内4校の第1志望者数は北摂三田高(特色含む)定員240名に対して242名(+2名)。祥雲館高校定員240名(推薦含む)に対して441名(+201名)。有馬総合定員200名(推薦含む)に対して277名(+77名)。三田西陵(特色含む)200名に対して175名(-25名)。特に祥雲館高校において今年は大激戦が予想されます。推薦・一般ともに競争率1.5倍を想定しなければなりません。目標通知表数値は北三で「36」、祥雲館で「34」です。主要5教科はもちろんですが、特に実技教科は内申点割合が高いので、今日から授業中の態度を正し、提出物や実技課題に対しては本気で取り組んでください。また、推薦を希望する生徒は10月末か11月初に実施される実力テストの学内順位で上位をマークしましょう。〔野垣勝彦〕

話す力より聞く力

聞かないとわからない。とっても単純でよく聞く言葉ですね。しかし、それが実行できている人はどれくらいいるのでしょうか。聞かずに自分の考えや予想だけで動いている人が多いと思います。あ、これも予想でしかないですね(笑)。この話をすると、「だって話してくれない」「話した内容が本心とは限らない」という人もいます。どちらもスタート地点が間違っているのです。話してくれない人がいたとしたら、「あなたに話したくない理由」があるのです。本心を語ってくれないのだとしたら、「本心を語りたくない理由」があるので。その理由を考え、取り除いていくのがコミュニケーションです。聞く力です。「さあ、話して!」ではダメなのです。〔金子祐太〕



特進館学院には、毎月のように全国の学習塾の塾長先生方が、教室見学や授業研修のためにご来訪。今まで来られた先生はなんと500名超。9月は、18名がご参加されました。

9月の“自習王”決定!

☆中学生の部
中3 下村 奈都 143.1 時間
☆高校生の部
高3 細谷悠人 116.5 時間

一度止まるということ

「動き続けることこそ正しい」というような名言をSNSでよく見ます。本当にそうかなと思うのです。違和感があるとき、自信がなくなったとき、一度立ち止まって考えてもいいと思うのです。完全に止まることは難しいと思います。でも、一度止まるという選択肢は心のどこかにあっていいと思うのです。一度止まった時に、自分にとっての正解が見えてくるかもしれません。〔大西夏琳〕

11月分
学費の振替

10月
27日
(木)

今月振替分に公開テストの受験料(小学¥2,900、中1・2生¥3,200、中3生¥14,700)を合算して振替いたします。詳細につきましては明細をご確認ください。

マスクで「ブサイク」になる…



テレビなどを観て、こんな経験はありませんか?ニュース番組の新人アナが、なんとも言えず素人臭くて場違い感満載。「こんな地味な子に、番組が務まるの?」と疑問に感じたのに、半年後に気がついたら随分アカ抜けして、番組が板に付いて輝いている。これは、人間が注目を浴びることによって磨かれる『ホーソン効果』という現象です。スタジオでは、まわりからたくさんの視線や光を日々浴びることになりますから、結果的にどんどん美しく磨かれていくというワケ。

マスクが日常になって3年近くになります。近頃は、マスクを付けた自分の顔が気に入っているとか、マスクを取るのが恥ずかしいという理由で、人前ではマスクを外さない人が増えています。となると、その人のマスクの下は視線や光を浴びず、徐々に「劣化」し、「ブサイク」へ変化していきます。そんなことを何年も続けていると、取り返しのつかない「恐ろしい事態」になってしまふかもしれません。まずは、鏡の前で自分の顔をチェックしてみてください。

海外では、ほとんどマスクをしていないのをご存知ですよね?政府もようやく、「屋外ではマスクを外してください!」と国民に呼びかけるようになりました。自分の顔に誇りを持って、思い切ってマスクをリリースしましょう!手遅れになってしまう前に…。(^_^) [北村昌弘]

代表北村のお願い
車のお子様の送迎で東側遊歩道沿い道路に駐停車する保護者が通行車両の進路を妨げているといった報告がございます。大変危険ですので、乗降は駐車枠内に行っていただきますようお願いします。

編集後記

マスクが日常になって3年も経つのか…と、上段のコラムにひとり頷いています。ずっと以前はマスク=風邪というイメージでマスクをするのが恥ずかしく感じることも。そのうち、花粉症患者の増加にあわせて季節的にマスク着用者が増加し、マスクはかなり身近なものに。そして、コロナ拡大でマスクが当たり前の生活になりました。最初は不便さを感じることがあったものの、今ではオシャレアイテムのひとつになりうる存在にまでなっています。慣れは良し悪し。お手入れを怠らず、いつでもマスクを外せるようにしたいものです。